

科目名「微生物学・口腔微生物学」

学年	学期	科目責任者
1	後学期	齋藤 真規
科目ナンバリング	B-4-③-I-10	
単位数	2	
学修目標 (G I O)	医療従事者として必要である微生物の基本的な性状と病原性、感染によって生じる病態および生体の防御機構として免疫を理解する。 また、歯科衛生士に必要な口腔常在微生物とそれらが原因となる疾患について理解するとともに、関連する他科目を学ぶ際に必要な知識を修得することを目標とする。	
担当教員	*齋藤 真規, 小林 良喜, 栗原 紀子	
教科書	「最新歯科衛生士教本 微生物学」全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版)	
参考図書	戸田新細菌学 改訂34版 吉田眞一, 柳雄介, 吉開泰信 編集 (南山堂)	
評価方法 (E V)	中間試験 (50%), 定期試験 (50%), 出席および授業態度等を加味し総合的に判断する。	
学生へのメッセージ オフィスアワー	歯科医療に従事する歯科衛生士にとって疾病に対する予防処置や、診療補を行うにあたり微生物学的知識を十分に生かせるように基本的知識の向上を目指してもらいたい。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 10/11	微生物学の歴史 感染と感染症	【授業の一般目標】 微生物と疾病との関わりについて理解する。 【行動目標 (SBOs)】 微生物学とその進展について説明できる。 感染の成立と発症機序について説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、教科書第1章(P1-12)を一読する。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ 【アクティブラーニングの有無】無 【学修方略 (LS)】講義	栗原紀子
第2回 10/18	細菌の性状と 病原性	【授業の一般目標】 微生物の性状と病原性について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 細菌の分類・性状・形態・構造・代謝を説明できる。 細菌の病原因子を説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、教科書第2章(P13-28)を一読する。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ 【アクティブラーニングの有無】無 【学修方略 (LS)】講義	栗原紀子
第3回 10/25	細菌感染症1 グラム陽性菌	【授業の一般目標】 病原性細菌の中で、主なグラム陽性菌について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 主なグラム陽性菌の性状および病原性を説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、教科書第2章(P28-36)を一読する。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ 【アクティブラーニングの有無】無 【学修方略 (LS)】講義	*齋藤真規

第4回 11/1	細菌感染症2 グラム陰性菌	<p>【授業の一般目標】 病原性細菌の中で、主なグラム陰性菌について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 主なグラム陰性菌の性状および病原性を説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、教科書第2章 (P36-43) を一読する。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	*齋藤真規
第5回 11/8	細菌感染症3 マイコプラズマ スピロヘータ リケッチア クラミジア  真菌 原虫	<p>【授業の一般目標】 マイコプラズマ、スピロヘータ、リケッチア、クラミジア、真菌および原虫について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 マイコプラズマ、スピロヘータ、リケッチア、クラミジアの性状と病原性について説明できる。</p> <p>真菌および原虫の性状と病原性について説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、教科書第2章 (P43-48, 70-73) を一読。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	*齋藤真規
第6回 11/15	ウイルスの性状と 病原性  ウイルス感染症1	<p>【授業の一般目標】 ウイルスの性状と病原性について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 ウイルスの分類・性状・構造について説明できる。 ウイルス感染症とその病原体について説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、教科書第2章 (P48-58) を一読する。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	栗原紀子
第7回 11/22	ウイルス感染症2	<p>【授業の一般目標】 ウイルス感染が原因の疾患について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 ウイルス感染症とその病原体について説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、教科書第2章 (P58-69) を一読する。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	栗原 紀子
第8回 11/29	中間試験 解説講義	<p>【授業の一般目標】 これまでの講義内容についての理解度を確認する。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：120分、第1～7回の講義内容をまとめる。</p>	*齋藤真規 栗原紀子 小林良喜
第9回 12/6	宿主防御機構と 免疫1  免疫機構	<p>【授業の一般目標】 宿主の非特異的・特異的防御機構について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 非特異的防御機構と特異的防御機構および粘膜免疫の特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、教科書第3章 (P74-91) を一読する。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	小林良喜
第10回 12/13	宿主防御機構と 免疫2  体液性免疫 細胞性免疫	<p>【授業の一般目標】 免疫の概念および免疫応答の発現機序を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 液性免疫および細胞性免疫について説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、教科書第3章 (P92-103) を一読する。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	小林良喜

第11回 12/20	宿主防御機構と 免疫3  アレルギー	<p>【授業の一般目標】 アレルギーについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 アレルギーの分類および疾患の発症機序を説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、教科書第3章(P103-109)を一読する。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	小林良喜
第12回 1/10	化学療法	<p>【授業の一般目標】 化学療法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 化学療法の目的と作用機序を説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、教科書第6, 7章(P144-154)を一読する。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	*齋藤 真規
第13回 1/17	院内感染対策  滅菌・消毒	<p>【授業の一般目標】 院内感染対策の実際と滅菌・消毒について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 化学療法の目的と原理を説明できる。 滅菌・消毒の意義と原理を説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、教科書第6, 7章(P155-166)を一読する。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	*齋藤 真規
第14回 1/24	口腔微生物叢  口腔感染症1 齲 蝕	<p>【授業の一般目標】 口腔細菌叢、齲蝕原性細菌と齲蝕発症機序を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 微生物と口腔環境の関わりについて説明できる。 齲蝕の原因菌と病原性について説明できる。 齲蝕の発症機序について説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、教科書第4・5章(P110-130)を一読する。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	*齋藤真規
第15回 1/31	口腔感染症2 歯周病 その他	<p>【授業の一般目標】 歯周病と口腔領域の疾患を微生物学的側面から理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 歯周病原細菌と病原性について説明できる。 歯周病発症の関連因子と病態について説明できる。 口腔領域の疾患に関与する微生物について説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、教科書第5章(P130-143)を一読する。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	*齋藤真規